

Primaff News

VOL.10 平成20年5月26日発行



所長就任挨拶



農林水産政策研究所の平成20年度政策研究課題



北東アジア農政研究フォーラム第6回シンポジウム開催のお知らせ





所長就任挨拶

農林水産政策研究所長
齊藤 登

去る4月1日、小西前所長の後任として、農林水産政策研究所長を拝命いたしました。この場をお借りして、皆様方に一言ご挨拶申し上げます。

農林水産政策研究所は、農林水産省の所掌する政策に関する総合的な調査及び研究を行う機関として平成13年4月に設立されました。今日までの間、とりわけ平成18年度以降においては当政策研究所による政策研究の成果が行政部局における政策の企画・立案により一層活用されるよう、いろいろな改革に取り組んでまいりました。具体的には、①多様な行政ニーズに対応するための政策研究の枠組みの構築、②行政部局との十分な調整を図った上での政策研究課題の決定、③グループ・チーム制の導入による機動的な研究体制の整備を進めてきており、これらを踏まえて、平成19年12月には「農林水産政策研究所政策研究基本方針」を策定し、その明確化を図ったところです。さらに、第三者による機関評価を新たに導入し、毎年その評価を踏まえ運営の改善を進めていくこととしたところです。

食料・農業・農村をとりまく情勢の変化は一層大きなものとなっており、これに対応してより一層スピード感をもって研究場面においても対処することが求められています。平成20年度の研究課題においても、世界の食料需給の中長期的な見直しに関する研究などの食料の安定供給分野、水田・畑作経営所得安定対策導入に伴う農業経営・農地利用集積等の動向の分析を目的とする国内農業の体質強化分野、地域の活性化の要因分析を行う農山漁村の活性化分野、さらに、新たな農林水産環境政策の社会経済的影響評価に関する研究を行う環境対策分野の4分野を重点研究分野として活動を進めていくこととしています。

また、本年秋には研究所の霞ヶ関地区への移転が予定されており、これにより現在の霞ヶ関の分室も一体化されることとなります。従来以上に研究所として有機的・総合的な運営が可能となり、研究成果も上がり、行政への貢献も高まることが期待されます。今後はさらに農林水産本省各局との関係を深めるとともに、関係する諸研究機関、大学などともより一層交流・関係を強化していくことが重要となっております。また、OECD、FAOなどの国際機関との関係強化も必要です。そういった意味で、当研究所が農業政策研究の広く世界に開かれたフォーラムとなっていくことが求められていると考えております。

当政策研究所がその使命を果たすことができるよう、職員とともに一丸となって努めてまいり所存です。関係の皆様方のご支援、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

農林水産政策研究所の平成20年度政策研究課題

農林水産政策研究所の政策研究については、行政部局の政策研究ニーズを踏まえて適時適切な課題を選定し、関係部局との密接な連携の下で研究を進めながら、その成果を農林水産政策の企画・立案に反映させていくことが重要です。その際、重点的に取り組むべき分野を明らかにしつつ、必要に応じて中長期的な視点をもって研究を行うことが必要です。

このような考え方にに基づき、行政部局からの課題募集を行う等により政策研究ニーズを把握し、当面の政策課題も踏まえ、平成20年度の政策研究課題を決定しました。

1. 重点研究分野における政策研究

① 食料の安定供給

- ・世界の食料需給の中長期的な見通しに関する研究
「プロジェクト研究」＜官房等＞ 20～22年度
- ・食料フローモデルの開発・活用等による安定的な食料供給システムの構築に関する研究
「プロジェクト研究」＜官房、総合食料局、生産局等＞ 18～20年度
- ・二国間交渉の戦略的対応に資するためのEPA締結の影響及び関係国の政策の分析
「行政対応特別研究」＜国際部＞ 20年度
- ・主要国の農業政策決定プロセス等に関する分析
「所内プロジェクト」＜国際部＞ 20年度

② 国内農業の体質強化

- ・水田・畑作経営所得安定対策導入に伴う農業経営・農地利用集積等の動向の分析
「プロジェクト研究」＜経営局等＞ 19～21年度

③ 農山漁村の活性化

- ・小学生の農山漁村での長期宿泊体験活動に係る課題の整理・分析
「行政対応特別研究」＜農村振興局＞ 20年度
- ・中山間地域振興のための集落間連携の推進方策に関する研究
「行政対応特別研究」＜農村振興局＞ 20年度
- ・新たな参加者を活用した多様な主体の連携による地域営農・資源管理システムの構築に関する研究
「所内プロジェクト」＜経営局、農村振興局＞ 20年度

④ 環境対策

- ・新たな農林水産環境政策の社会経済的影響評価に関する研究
「プロジェクト研究」＜官房、農村振興局＞ 19～21年度

2. その他の政策研究

- ・ 諸外国の農林水産研究開発、技術移転及び普及の考え方と施策の展開状況並びに我が国の農林水産研究及び普及政策との比較研究

「行政対応特別研究」＜技術会議事務局等＞ 20年度

- ・ EU漁業政策の動向分析

「行政対応特別研究」＜水産庁＞ 19～20年度

シンポジウム開催のお知らせ

「北東アジア農政研究フォーラム第6回シンポジウム」

農林水産政策研究所は、平成15年3月、中国農業科学院農業経済発展研究所及び韓国農村経済研究院との間で、北東アジア地域における農業構造、農業環境、農産物貿易等の諸問題についての研究協力を行うため、北東アジア農政研究フォーラムを立ち上げることに合意しました。

こうした研究協力の一環として、三カ国の研究所は北東アジア地域の農業・農政に関わる共通テーマの下、各研究機関の研究成果を持ち寄って討議する国際シンポジウムを持ち回りで平成15年から毎年開催しています。第6回目となる本年は、日本において以下のとおり開催します。

【お詫び】

当シンポジウムは、都合により延期となりました。

日時が決定され次第、改めて以下のホームページでご案内申し上げます。

<http://www.maff.go.jp/primaff/koho/press/index.html>

● 議 題 1： 農村地域振興と農業 [研究発表及びパネル討議]

● 議 題 2： 国際食料需給状況 [研究発表及びパネル討議]

● 参加機関： 農林水産政策研究所、中国農業科学院農業経済発展研究所、韓国農村経済研究院

● 言 語： 日本語、中国語、韓国語の同時通訳

● 定 員： 約200名(準備の都合上、事前の申し込みが必要です。)

● 申し込み等の詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/080512.html>

編集後記

所長就任挨拶にありますように、4月1日付けで齊藤新所長が着任いたしました。小西前所長同様よろしくお願いいたします。

平成20年度の政策研究課題が決定されました。新所長の下、これら研究課題に取り組むための研究チームが編成され、20年度の研究がスタートしました。

Primaff News

一農林水産政策研究だよりー

VOL. 10 平成20年5月26日発行

農林水産省農林水産政策研究所

企画広報室広報資料課

TEL : 03-3910-3809

※バックナンバーはHPをご覧ください。

<http://www.primaff.affrc.go.jp/seika/primaffnews/news.html>

